

第19回 プランニングよりタイミング

今回のゲスト

0

ソーシャルメディア・ディレクターの後藤たくひろさんの仕事の楽しさは？

大好きだった仕事にも別れの時期がある

自由な時間でみつけたSNSの可能性

すべてのビジネスがソーシャルに向かっている

仕事には、卒業がある

「楽しさ研究所、すごいですね～。世の中のエンターテインメントが全部つまってますね。iPhone 5、もうあるし！」という秀逸なボケからはじめてくださった後藤さん。場を盛り上げるのがお上手です。以前はゲーム会社にお勤めで、宣伝や広報をご担当されていたという後藤さん。現在はソーシャルメディア・ディレクターとしてTwitterを使った様々なビジネスでご活躍です。ソーシャルメディアの世界へ飛び込んだきっかけとその世界で活躍する秘訣をうかがいました。

ゲーム会社にお勤めだったころは、周囲より4～5時間早くに出勤し、オフィスの掃除や給湯室のお湯を補充したりすることを日課にするほど働くことが大好きだったという後藤さん。「どうしてゲーム会社を退職されたんですか？」というこちらの質問に、「ゲーム業界は、エンターテインメントの世界。どこかで卒業するというイメージを最初から持っていました。自分自身がゲームをしない年代になったとき、辞める時期だなと思いました」と後藤さん。ノープランで退職……不安はなかったのでしょうか？

退職したばかりで、時間だけは十分にあった後藤さんが出会ったのは、当時、少しずつ広がってきていたTwitterをはじめとするSNSでした。先駆的ユーザーとしてメディア取材を受けたことがヒントとなり、Twitterを利用したイベントを始めます。その中でできた人脈で、“ツバヤキスト”としてのビジネスが広がっていきました。

ゲーム会社にいたときも、ユーザーとの相互のやりとりが重要になってきていると感じていたという後藤さん。ツールがSNSに変わっただけで、相互交流がビジネスの中核にあるのは今も同じ。弊社が作っている「読者からの手紙」をソーシャルメディアの原点とさせていただきます。というわけで、先着10名様に「読者からの手紙」プレゼントいたします！応募は右のメールアドレスにお名前を明記のうえ、メッセージをお送りください。

「読者からの手紙」10名様にプレゼント →



後藤たくひろ(ごとう・たくひろ)さん

1968年1月8日生まれ。立教大学英米文学科卒業。転職情報企業にて広告営業を経験した後、ゲーム業界へ。営業、宣伝、広報、マーケティング、制作進行、ユーザーサポート、海外事業など幅広い仕事の経験を積み、2010年より“ツバヤキスト”として本格的に活動をはじめます。主な仕事はソーシャルメディア・ディレクター。Twitterを中心としたソーシャルメディアを企業で活用するためのサポートや運営代行をしています。社会人向けの勉強会として、その場で本を読み・2分間のプレゼンを行う「夜の読書会MAX」を主宰。Ustreamの帯番組「麹町ワールドスタジオ」では月曜担当として“たくひろナイト”の司会を務め、地上波では取り上げられない、様々な人物、情報を紹介しています。

■麹町ワールドスタジオ/たくひろナイト

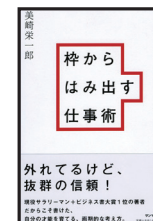
<http://www.ustream.tv/channel/kwstudio>

■ブログ

<http://ameblo.jp/zakkuraban/>



たくひろさんは、本を出す前からの友人で、その頃はお互いメディアには顔を出すなんて思ってもいませんでした。不思議なもので二人とも今では状況が変わりました。ソーシャルな動きに加速されたのかなあ。



リスナーへお知らせ！
仕事の楽しさを追求した1冊！
最新刊『梓からはみ出す仕事術』

Amazonで発売中。

こちらをクリック！→ <http://amzn.to/dShb3I>

この番組へのご感想や、こんなゲストを呼んでほしい！
などのご要望を随時募集しています。こちらにご連絡ください。
a16.misaki@gmail.com

今回のゲストは・・・
建築士・エンジニアの
谷口和信さんです。